



ピーマンの定植

昨年私達の畑を尋ねてきた若いママの小山さんは子どもたちのために有機野菜を鎌ヶ谷市の学校給食に取り入れる活動をされています。

オーガニック給食運動の原動力ママエンジェルズ (その1)

(食料シリーズ④)

家事をしたり、子ども達のお世話をしたり、家の事務作業をしたり、仕事にも出たりと、お母さんは社会・家庭の中でとても大きな役割を持っています。一方で家庭にまで影響する様々な社会的な政策やルールは行政や議会、企業の人達の意見で決められることがほとんどで、お母さんの思いや意見ってどこまで取り入れられているのでしょうか。そこができれば、お母さん達は嬉しいし、もっといい社会づくりにもつながるのでは?そんな思いのお母さん達が集まり2019年に立ち上がったのがママ♡エンジェルズです。消費者団体として、医療・食・子ども・教育など様々なお母さんたちの気になること”をテーマとして取り上げて、チームを作り、それらについて学びを深め、政策やルールをつくっている様々な立場の方々と対話を通して、思い・提案を実現していくことを目指し活動しています。チームは全国に存在し、現在のチーム数は383、計3753名(2023. 1.15現在)がメンバーとして登録しています。一次回は小山さんの活動をご紹介します。—

お届けの野菜 坊主知らず葱・大根・かぶ(地温が高くなると虫が活発になりかぶの表面が食べられてしまいました。不美人なかぶですがよろしくお願ひいたします。)・赤玉ねぎ・小松菜・その他

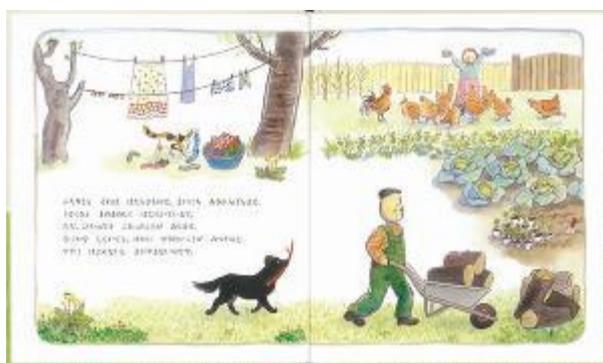
簡単レシピ ♡大根の煮物炒め

- ・大根を拍子切りにする。にんべんのつゆの素を2~3倍にうすめてやわらかくなるまで煮る。
 - ・一晩おいてからフライパンにごま油かラー油(ピリ辛にしたい時)をしき炒めたら出来上がり。
- (シゲさん)

作業日誌 さつま芋の苗植え、里芋植え、おおまさり落花生・インゲン・四角豆・小松菜・サラダ・オクラの種まき、ナス・南瓜・ピーマン・ズッキーニ・スイカ・葱の定植、じゃが芋の芽欠きと草取り、耕運など。

5月の絵本の紹介 市川市の野菜ともだちの細井さんが紹介して下さいます。

「えんどうまめばあさんとそらまめじいさん」(松岡享子/文 降矢なな/絵 福音館書店 2022年)



日に日に木々の緑が濃くなり、荒木さんの畑から初夏のお豆が届くのが楽しみな季節ですね。さて、表紙のおじいさんは、なぜうさぎをつかまえようとしているのでしょうか?働き者の夫婦二人暮らしのえんどうまめばあさんとそらまめじいさんのユーモラスな一日。畑仕事やうさぎ小屋の修理、次々思いつくことにとりかかるうちに、あ

らあら。。! 文を書いた松岡享子さん、生前最後の作品となりました。まあるい顔が親しみやすく、まめな暮らしをしているから二人をお豆にしたのかしら。絵を描いた降矢ななさんはスロヴァキア在住、ウクライナからの難民親子さんと一時自宅と一緒に生活されていました。松岡さんとのこの絵本共作の際、時間に追われず、暮らしそのものを楽しみながら大切に、とメッセージを感じられたそうです。このような地に足のついた穏やかな平和な暮らしの有難さと、それを守る大切さを改め痛感します。

6/13 (木) 大根・葱・ミニ白菜等

野菜の傷みや代えて欲しい野菜がありましたらご連絡頂けると助かります。